

短期成果の限界を超えて～“意味と信頼”で選ばれる企業へ～

生成 AI 時代に向けた新たな組織変革提言

全 4 冊リリース

■ 背景

少子高齢化、生成 AI の普及、価値観の多様化。社会と企業を取り巻く環境は、大きな転換点を迎えています。これまで企業は、「速く、正確に、ミスなく」を追求し、短期的成果を積み重ねてきました。

しかし今、「誰のために、何のために働くのか」という問いを見失い、取引先や顧客との関係性の希薄化、組織文化の空洞化に直面する企業が増えています。効率化は不可欠です。けれども、それだけでは「選ばれ続ける存在」にはなれない。いま求められているのは、“意味と信頼”を再構築することです。

■ 本リリースについて

こうした認識のもと、私たち リクエスト株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役 甲畑智康)は、このたび、組織変革に向けた 4 つの提言書を体系的にリリースしました。互いに連動し合い、それぞれの視点から未来への道筋を描いています。

【4 冊連動性まとめ表】

	提言書	主なテーマ	役割・連動性
第1弾	<u>効率の先にある「選ばれる企業」への転換</u>	行動の“意味”に着目、信頼を生む文化への転換	現場の違和感を出発点に、行動の再設計を提起
第2弾	<u>生成 AI とともに意味を育てる仕事へ</u>	AI 時代における「問い」と「意味」の再定義	第 1 弾を受け、人間の役割(問い・意味)を深掘り
第3弾	<u>「ちゃんとやったのに評価されない」、その奥にある構造</u>	評価されない理由を「問いの主語の未成熟」として可視化	第 2 弾を踏まえ、信頼の波及構造を具体化
第4弾	<u>人的資本開発の体系的推進 = 仕組み創り</u>	支援・共創行動を育む人的資本開発の仕組み化	第 1～3 弾の知見を制度・育成・文化として実装

■ 本提言の核となるメッセージ

- 短期成果は尊重する。しかし、その上に未来を育てる視点を持つ。
- AIによる「処理代替」の時代だからこそ、人間は「問い」と「意味」を担う。
- 選ばれる企業とは、相手と共に成長し、信頼と文化を編む存在である。



より善くを目的に 組織行動科学[®]
HCD : Human Capital Development

リクエスト株式会社 : <https://requestgroup.jp/corporateprofile>

会社案内ダウンロード : <https://requestgroup.jp/download>

代表取締役 甲畑智康 : <https://requestgroup.jp/profile>

E-mail : request@requestgroup.jp

本社 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿 3 丁目 4 番 8 号 京王フレンテ新宿 3 丁目 4F

リクエスト株式会社は、「Behave : より善くを目的に」を掲げ、国内 336,000 人の組織で働く人達の行動データに基づいた組織行動科学[®]を基盤に、人間の行動と思考を研究開発する 5 つの機関が連携し、930 社以上の企業の人的資本開発を支援する企業です。 <https://www.requestgroup.jp/>

– smart creative management[®] 総合研究所

– OrgLogLab : 組織論理学研究センター

– ABA Operations Research[®] センター

AIAndragogy[®]

– XR HRD[®] 研究センター

MetaBehave[®]

– 公共行動研究室[®]

Nudge Product[®]